



平成 19 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社マルハニチロホールディングス
 代 表 者 名 代表取締役社長 五十嵐 勇二
 (コード番号 1334 東証第一部)
 問 合 せ 先
 経営企画本部広報・IRグループ長 川 文人
 (TEL 03-3216-0821)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 8 月 10 日の第 1 四半期決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中間期連結業績予想の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	一株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	370,000	8,000	7,000	3,000	8円47銭
今回修正予想(B)	363,500	5,100	4,700	800	2円26銭
増減額(B-A)	△ 6,500	△ 2,900	△ 2,300	△ 2,200	△6円21銭
増減率(%)	△ 1.8%	△ 36.3%	△ 32.9%	△ 73.3%	△ 73.3%
(ご参考) 前期(平成 18 年 9 月期実績)	365,121	6,371	6,159	1,175	3円84銭

2. 通期連結業績予想の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	750,000	16,000	14,000	5,000	13円72銭
今回修正予想(B)	850,000	12,500	9,000	500	0円63銭
増減額(B-A)	100,000	△ 3,500	△ 5,000	△ 4,500	△13円09銭
増減率(%)	13.3%	△ 21.9%	△ 35.7%	△ 90.0%	△ 95.4%
(ご参考) 前期(平成 19 年 3 月期実績)	737,510	12,137	11,093	1,617	4円49銭

3. 修正の理由

①中間期

国際的な買付競争激化により買付コストが上昇するなか、国内市況は依然として低迷し、水産・食品業界を取りまく環境は厳しい状態で推移しています。

こうしたなか、国内養殖事業は堅調に推移したものの、アフリカえび合併事業改善の遅れ、北米事業における操業効率悪化によるコストアップや、円安要因を含めた日本向け価格の下落による利益圧迫、主力商材である鮭鱒、えび類の市況軟調による水産商事の利益率低下、また、加工食品における原料価格上昇によるコストアップ等があり、中間期の業績予想を前表の通り修正いたします。

また、株式会社ニチロとの経営統合を控え会計基準を統一することにより、過年度における販売促進費7億円などの特別損失を計上する予定です。

②通期

通期の業績予想に関しましては、平成19年10月1日に株式交換により株式会社ニチロを完全子会社としたことにより、その連結対象会社の下半期（平成19年10月1日から平成20年3月31日まで）の業績予想を織り込むとともに、当中間期の業績予想を踏まえ下半期の見通しを再検討しました。その結果、今後も水産・食品業界を取り巻く環境は厳しい状況が続き、事業環境の改善による十分な収益の確保は難しい状況と予想されることや、新規事業参入遅れが見込まれることなどにより、前表のとおり通期業績予想を修正いたします。

また、株式会社ニチロとの経営統合に伴う費用として、9億円を営業費に、16億円を特別損失に見込んでおります。

(注)上記業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上